

研修3日目の朝。ホストファミリーの家から語学学校に、自分達の力で通学する初めての日です。事前研修では、ボストンの公共交通機関の使い方を学び、ファミリーからは通学方法を聞きました。果たして全員が無事に時間通りに登校出来るのか…大きな期待と少しの不安を胸に、学校に現れるのを待ちました。最初に登校してきたのは、登校時間の一時間ほど前。予定していたバスや地下鉄に乗れなかったことを想定して、かなり早く家を出発してきたようです。それに続いて、ほとんどの生徒さんが時間通りに登校することが出来ました。驚くことに、道に迷った人、バスや地下鉄を間違えた人は一人もいませんでした。地下鉄の遅延の影響で、登校時間に遅れてきた生徒さんはいましたが、しっかりと事前に連絡をしてくれていたのが安心して待つことが出来ました。

本日から、本格的に英語のレッスンが開始されました。1時間目は文法の授業です。プレテストの結果、6つのクラスに分かれました。その内、高女生が1名だけのクラスが2つ、高女生のみのクラスが2つ、留学生が半数のクラスが2つとなりました。テストの結果とはいえ、与えられた環境の中でどう奮闘していくのか、これからの授業が楽しみです。2時間目はコミュニケーションの授業です。こちらは5つのクラスに分かれ、高女生と留学生がまんべんなくミックスされていました。クラスにいる留学生に対して、自分からどんどん話しかけたい！と、授業中も休み時間も交流を繰り返す姿が見られます。ベネズエラ、サウジアラビア、ペルー、メキシコ、イタリア、フランスなど、現在は17か国から、この語学学校に留学生が来ています。休み時間のラウンジでは、人種も国境も越え、同じ英語を学ぶ仲間としてお喋りに花が咲きます。しかしながら一方で、なかなか一歩が踏み出せない生徒さんもいました。休み時間に教室から出ず、何となくイスに座って時間が経つのを待っている。残念ながらそのような姿は少なくありませんでした。皆、「自分から積極的に、英語でコミュニケーションを取れるようになりたい」という気持ちは抱いていますが、行動に移す・移さないという点で、様子が大きく異なりました。彼女達の行動がどう変化していくのか、今後の成長が楽しみです。

午後は、ボストンで医療系のマーケティング会社を運営されている松川原氏にお越し頂き、「グローバル時代に求められる人材とは？ 人口知能の時代を考える」というテーマでお話を頂きました。このレクチャーを受けるにあたって、松川原氏から課題が出ていました。人口知能の台頭によって、勉強の仕方や知識の習得、大学受験、就職活動、働き方は変わっていくのか。という問いから始まり、現在の世界経済を大きく変えたGAFAG（Google, Apple, Facebook, Amazon）の歩みを振り返りました。産業革命以来の大きなパラダイムシフトが押し寄せるなかで、私たちに求められることは何なのだろうか。松川原氏の問いかけは、徐々に経済の動きから、各個人の考え方へと深められていきました。自分の価値観をどう確立していくのか、進路選択や将来の描き方、モチベーションの保ち方。テーマがより個人的な内容になるにつれ、話にぐっと引き込まれていきました。松川原氏から「あなたがやりたいことは何なのか、あなたはどう思うのか。自分軸で考えることを意識して欲しい。他人からどう見られるか、他人に何を言われるかで物事を決めるのではなく、自分が楽しいと思えることを追及する。そんな人生を歩んで欲しい。」というメッセージを頂きました。

レクチャー終了後、本日は語学学校で解散となりました。それぞれのホストファミリー宅へは自分達の力で帰ります。問題なく帰れるだろうか、迷子にならないだろうか、そんな事を考えながら帰宅の連絡を待ちましたが、杞憂に終わりました。全てのグループから、無事に帰宅できたと連絡をもらうことが出来たのです。明日からはボストンの街を移動するアクティビティがメインになります。この様子なら安全に実施することが出来そうです。以上、3日目の報告とさせていただきます。

松川原氏のレクチャー

真剣に聞き入りながら、メモを取る手が止まりません。

「自分だったらどう思うか、どう行動するか？」思いを巡らせながら、話を聞きます。



レクチャー終了後には全体で質疑応答の時間を設けましたが、個人的な質問も多く寄せられました。

皆真剣に、自分の思いを松川原氏にぶつけます。

